県指定無形民俗文化財

御田祭

おんださい

大地の力蘇る伝統

令和6年

7月6日（土）・7日（日）

御田祭の里 ふれあい広場

宮崎県美郷町西郷田代（雨天決行）

7月6日（土） 前夜祭

◆**第31回 日向田植唄 全国大会**
午前9時～午後5時 西郷農村環境改善センター

◆**ふるさとうまいもん広場**
午後3時～午後9時 すぱーく西郷 周辺

◆**ステージイベント**
午後5時～午後8時 すぱーく西郷

◎**ものまねショー**

マーチンRYO

SHINOBU

◎**マジックショー**

荒木巴

◆**御田祭の里花火大会**
午後8時15分～午後9時
葉桜ふれあい公園

7月7日（日） 御田祭

午前8時	上円野神社神事
午前8時40分	日向田植唄披露
午前8時50分	御神幸行列出発
午前9時～10時　随時	牛馬入れ
午前9時	豊年神楽奉納
午前9時20分	上の宮田着
午前10時	子どもみこし入れ
午前10時30分	祭典
午前10時30分～11時　随時	牛馬入れ
午前11時	青年みこし入れ
午前11時25分	田植え神事
午前11時30分	田植え

◆**ふるさとうまいもん広場**
午前8時30分～午後2時 すぱーく西郷 周辺

◆**四半的大会**
午前9時～午後2時 西郷農村環境改善センター

◆**フォトコンテスト**
◎応募締切／令和6年7月31日（水）消印有効

主催 御田祭実行委員会 電話0982-66-3603

御田祭の由来

田代神社の御田祭は、主祭神、彦火々出見命の御神霊を、上円野神社よりお迎えし上の宮田から中の宮田への御神幸により行われる千年の伝統をもつ田植祭りである。

田代神社は、標高八九七・七メートルの日陰山、またの名を権現山の中腹に祀られ、長元五年壬申の年（一〇三二年）に創建され、旧社名を霧島神社という。

祭りの日は、田代神社の本社が権現山の中腹にあるため、上円野神社までの神霊の御降りを願って、安置された御輿に乗り移られ、途中上の宮田に神幸、田植え終了後中の宮田に祀ってある年の神に神幸される。

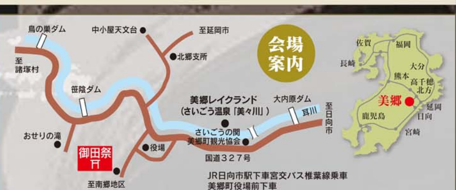
祭りは古来から、世襲制の家柄が中心に祭事役（ミヨド・ウナリ・ノボリモチ）を務め、これに一般の参詣者も加わり、神人・牛馬一体となって神田の整地から田植えを行い、参詣者の無病息災と豊作を祈願する。同時に、牛馬の守護神かつ農耕の神として、牛馬安全を祈願する。この神田の泥しぶきを浴びると無病息災が約束されるといわれている。

この祭りには、催馬楽（さいばら）の歌詞も伝えられ、古来の田楽神事がしのばれる近郷では珍しい民俗行事である。昭和六十三年三月八日、無形民俗文化財として県の指定を受けている。

ミヨド……祭事の世話役のことである。

ウナリ……白衣にたすきをかけ、頭上に赤飯を入れた飯びつをのせ運び、参詣者に赤飯おにぎりを配る人のことである。

御田祭のお札（木版刷り）



JR日向市駅下車宮交バス椎葉線乗車
美郷町役場前下車

指定駐車場（予定）2000台

総合グラウンド駐車場、農村環境改善センター駐車場
役場職員駐車場、県林業技術センター駐車場
JAみやざき西郷支店駐車場、旧田代小学校グラウンド
西郷義務教育学校グラウンド 他